

JAEF REPORT

令和2年10月5日

年4回発行(1,4,7,10月)

(公財)日本自動車教育振興財団 活動報告

【目次】

- ◆ 令和2年度自動車教育用教材の提供対象校・内容を決定
- ◆ 令和2年度JAEF研修会を開催

- ◆ 28都道府県(53件)の研修会に講師を派遣
- ◆ 動画学習サイトに6本のコンテンツ掲載

令和2年度自動車教育用教材の提供対象校・内容を決定

・・・8月3日

技術教育

財団は8月3日に、審査委員会(小山 実 委員長)を開催し、今年度の技術教育支援事業として、91の高等学校へ自動車教育用教材を提供することを決定した。

本年度の公募対象は、14都道府県(右欄参照)の全国工業高等学校長協会、全国総合学科高等学校長協会、全国自動車教育研究会に加盟する293校で、6月に公募を行った結果、対象となる全ての都道府県から前回を4校上回る91校の応募があった。

審査委員会での選考の結果、全ての応募校に第一希望の教材を提供することとした。

今年度は、基礎教育用の視聴覚・模型教材から初級教育用の分解組立用エンジンや工具類、更には中級・上級用の実験実習用機材(エンジン実習装置など)に至るまで、計30品目のメニューを用意した。過去二年で大幅な見直しを実施したため、今年度はリサイクルエンジンにエンジンスタンドをセットしたコースの新設や、中古車プリウスへの絶縁具の付加など学校の希望も踏まえながらプラスアルファの見直しを実施した。

各校への教材納入は、9月から12月にかけて実施する。尚、平成3年からの累計提供校数は計2,101校となる。



▲分解組立用汎用エンジン

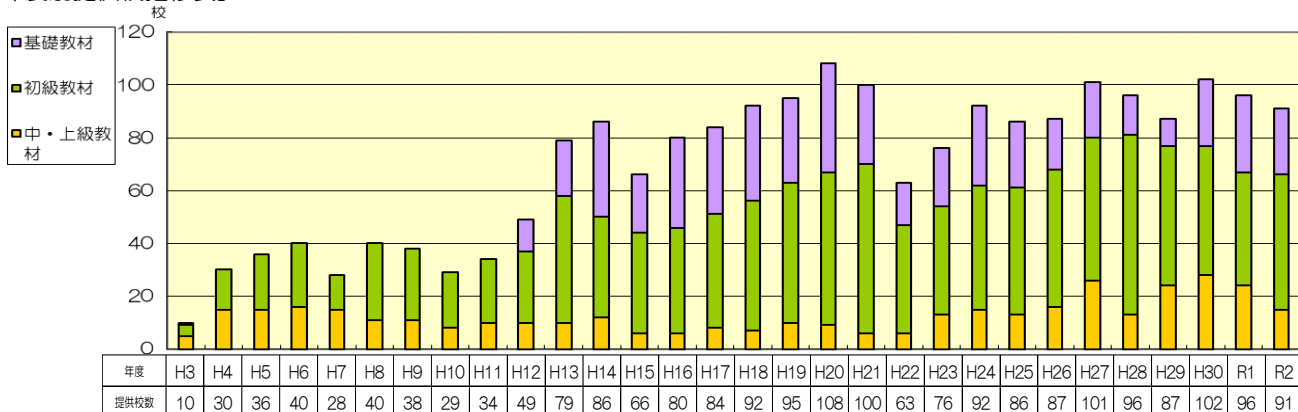


▲エンジン実習装置

【令和2年度公募対象都道府県、及び応募(=提供)校数】

<公募地域> 14都道府県：293校
 北海道(14) 栃木県(8) 埼玉県(7) 東京都(12) 千葉県(2)
 神奈川県(8) 富山県(4) 石川県(1) 福井県(6) 鳥取県(4)
 岡山県(11) 島根県(4) 広島県(2) 山口県(8)
 合計91校

【年度別提供校推移表】



INFORMATION

10~12月予定

- 教育現場の現状や課題などに関するアンケートの実施・集約 10月~12月
 ※ コロナ禍で会合の自粛が求められているため、毎年開催している各地での教材贈呈式・教育懇談会を中止。それに代えてアンケートを行い、結果を関係者間で共有。
- 23都道府県(42件)の研修会に講師を派遣 10月~12月
- 各部会、委員会を開催 10月下旬~11月上旬

令和2年度 JAEF 研修会を開催

・・・ 8月20日

研修

財団は、全国の高等学校の先生方を対象としたJAEF研修会を実施し、17名の先生方が参加された（開催場所：日本自動車会館 くまづプラザ会議室）。JAEF研修会は例年複数回実施してきているが、今年度はコロナ禍の影響で今回のみの実施となる。

今回は2部構成の講演会で、第1部は「自転車の安全利用のために」と題し、一般社団法人 全日本交通安全協会 参与の長嶋 良様にご講演いただいた。

コロナ禍でますます注目されている「自転車」は、老若男女誰もが利用できる移動手段として多くの方が活用されている。一方、その自転車も使い方を誤ると大きな責任を負うこととなる。その責任とは？事故を起こした時にはどうすればよいのか？など、一人一人が自転車のルールを学び、自転車を利用する者の責任を理解し、自転車の安全利用に努めることが大切であるとの説明がなされた。

また、自転車保険の内容、自転車と自動車との接触事故における過失割合の基本的な考え方、高額賠償事例を含め分かり易く解説いただいた。

参加された先生方からは、「自転車保険の重要性や注意点がよく分かった」、「事故を起こしてしまった際の過失割合・責任の大きさが理解できた」、「道路交通法の改正内容が理解できた」などの声が寄せられた。



▲第1部 全日本交通安全協会 参与 長嶋 良様のご講演

第2部では「カラダ、ココロ、まち（地球）に効く自転車」と題し、テレビやラジオ等でご活躍中のサイクルライフナビゲーター 絹代様にご講演いただいた。

各自治体が事情に合わせた「自転車活用推進計画」を策定し、施策を展開している事例の紹介や自転車先進国である欧州各国の好取組事例や今後日本が目指すべき方向性について解説いただいた。また、実際にどのように健康や精神面に好影響を及ぼすか？自転車で何ができるか？についても分かり易く、楽しく、ご紹介いただいた。

本講演については、「サイクリングにおける日本と世界の事情が大きく異なることが分かった」、「話を聞いてもっと自転車に乗りたくなった」、「ためになっただけでなく大変楽しかった」、「今回の講演内容は生徒に伝えやすい」などの反響があった。



▲第2部 サイクルライフナビゲーター 絹代様のご講演

本研修会開催にあたりご協力いただいた講師の方々には、紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

28都道府県（53件）の研修会に講師を派遣

・・・ 7月～9月

研修

財団は、自動車の整備技術やハイブリッド技術などの「自動車技術」に関する研修メニュー、および「環境・交通技術」「交通安全」に関する研修メニュー（計17種類）を用意し、高等学校や教育委員会からの要請を受け、専門の講師を派遣している。今年度の7月～9月は、28都道府県（53件）の研修会に専門の講師を派遣し、合計15,143名が受講した。コロナ禍により、当該期間で計21件のキャンセルが生じ、前年同期と比べ、件数で20件、受講者数で約5,820人の減少となった。

全53件の研修会の内訳では、社会科系及び生徒指導担当の先生並びに生徒を対象とした「交通安全」が50件、及び「環境・交通技術」が2件、主に工業系の生徒を対象とした「自動車技術」が1件であった。



▲東京都大森学園高等学校での交通安全研修会

研修メニュー別実績は、「交通安全」では「自転車・歩行者から見た道路交通と安全」16件、「ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全」13件、「自転車を取り巻くリスクとその責任」13件、「夜間の交通安全対策」6件、「二輪車（バイク）の交通安全」2件であった。「環境・交通技術」は、「地球温暖化防止と自動車技術（次世代自動車とインフラ）」及び「交通技術と社会のあり方（自動運転技術の現状と方向性）」が各1件であった。

そして「自動車技術」は、「日産・電気自動車について」が1件であった。なお、この講師派遣では、電気自動車に関する技術説明のみでなく、事故防止に有効な最新技術の理解促進を図るべく、実車を使った衝突安全技術のデモンストレーションも行っていただいた。



▲神奈川県立向の岡工業高等学校での自動車技術研修会

講師の派遣にご協力をいただいた関係団体、企業等の皆様には、紙面をお借りして改めて厚く御礼申し上げます。（講師派遣実績の詳細は、本紙P.4ご参照）

動画学習サイトに6本のコンテンツ掲載

財団は6月末より動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」を開設しているが、7月からの3か月間で合計6本のコンテンツを制作、Webサイトに掲載した。

当動画サイトは、ICT化が進む教育現場に合わせ、授業の一部或いは生徒の自主学習等での活用、話題のトピックスに関する情報提供を通じ、教育支援及び自動車に対する関心の高揚に繋げることを目的としている。

工業系の自動車工学や地歴公民科、総合学習に役立つ「クルマのまなび舎」、授業で活用できる話題等の情報を発信する「クルマ何でも情報館」から構成されている。

この度公開したコンテンツは次の通り（動画タイトル右のくは掲載日）。これらの他にも、今後当サイト内のコンテンツを順次制作、更新していく予定である。

・・・7月～9月

普及啓発



▲「早わかり！クルマ塾」動画サイト画面
(<http://www.jaef.or.jp/6-kurumajuku/index.htm>)

【クルマのまなび舎】

- 1) 『自動車誕生前史』<8/25>
「自動車産業の歴史と現状」コーナーの最初のコンテンツで、自動車が誕生するまでの歴史として、自動車もつ機能を果たしていた乗り物やその登場によって変化した道路づくりを紹介。



- 2) 『自動車の誕生』<9/14>
自動車が誕生した時代について、各原動機（蒸気、電気、内燃機関）に焦点を当て、その当時の特長や課題などと共に紹介。



- 3) 『アメリカ合衆国における自動車の大衆化』<9/29>
世界初のモータリゼーションに至る経緯や背景を、そのリード役となった「T型 フォード」を題材に解説。

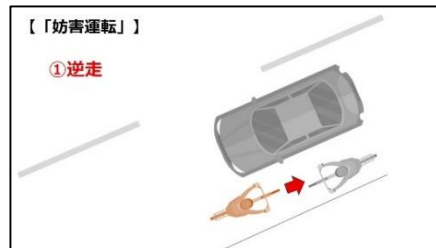


【クルマ何でも情報館】

- 1) 『コロナ禍で自転車通勤は増えるか』<7/15>
コロナ禍での自転車利用者の特性の把握を目的とした調査・解析結果にて明らかになった、自転車の利用意向の変化を紹介（東京都のデータ）。



- 2) 『あおり運転の厳罰化 自転車も対象！』<7/22>
法改正で、自転車のあおり運転「妨害運転」が摘発対象になったことから、それにあたる具体的な7つの行為及び違反時の罰則の理解、法令順守意識の高揚を促進。



- 3) 『コロナ禍で生まれたクルマの新たな楽しみ方』<8/27>
コロナ禍での社会・経済活動の変化が、クルマの使い方や楽しみ方にも及んでいる一例として、ドイツハンブルクでのドライビングコンサートを紹介。旅行業者を介し、現地担当者から収集した情報を基に制作。



令和2年度7～9月講師派遣実績表

No.	開催日	申込者			テーマ		講師派遣団体	講師名 (敬称略)
		都道府県	主催者	対象	人数	◇:交通安全 ★:環境技術・交通技術 ◆:自動車技術		
1	7/1	静岡	島田高等学校	全校生徒	600	◇自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・静岡支部	永谷 和俊
2	7/2	福島	県立大沼高等学校	全校生徒	230	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・東北支部	平島 正
3	7/2	三重	県立北星高等学校	夜間部 全学年	60	◇自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・三重支部	萱野 雄彦
4	7/3	兵庫	県立嶋尾高等学校	1年生	280	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部	隅田 清
5	7/3	新潟	県立正徳館高等学校	全校生徒	100	◇ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・新潟支部	田中 政彦
6	7/8	新潟	県立五泉高等学校	全校生徒	600	◇夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・新潟支部	田中 政彦
7	7/9	大阪	府立門真西高等学校	2・3年生	500	◇自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・大阪支部	小山 真
8	7/10	沖縄	県立那覇国際高校	全校生徒	1,088	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・沖縄支部	前里 清光
9	7/10	北海道	函館工業高等学校定時制	全校生徒	45	◇夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・函館支部	中者 善元
10	7/13	岡山	倉敷市立工業高等学校	全校生徒	60	◇夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・岡山支部	建部 拓
11	7/14	石川	小松市立高等学校	全校生徒	560	◇自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・石川支部	元谷 公一
12	7/15	福岡	県立浮羽工業高等学校	1年生	110	◇ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福岡支部	庄島 恭博
13	7/16	岐阜	県立武義高等学校	全校生徒	600	◇ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	大橋 義典
14	7/16	島根	松江市立女子高等学校	全校生徒	360	◇自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・島根支部	伊藤 昇
15	7/17	秋田	県立角館高等学校定時制	全校生徒	50	◇ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡 彰
16	7/20	富山	県立上市高等学校	1年生	157	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北陸支部	横田 龍夫
17	7/20	秋田	県立栗田支援学校	中学部1～3年	60	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・東北支部	平島 正
18	7/21	北海道	留辺蘂高等学校	全校生徒	50	◇自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・北見支部	高橋 純
19	7/21	宮崎	県立福島高等学校	全校生徒	240	◇ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・宮崎支部	竹内 真一
20	7/21	北海道	苫小牧工業高等学校定時制	全校生徒・職員	120	◇ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・釧路支部	中者 善元
21	7/22	兵庫	県立神戸聴覚特別支援学校	全校生徒	30	◇自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・兵庫支部	岡田 裕己
22	7/22	静岡	県立藤枝特別支援学校焼津分校	全校生徒	54	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・中部支部	沖田 完治
23	7/22	沖縄	県立宮古高等学校	全校生徒	800	◇自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・沖縄支部	新里 稔
24	7/27	神奈川	県立向の岡工業高等学校	機械科3年生	74	◆日産・電気自動車について	神奈川日産自動車株式会社	杉山 広明
25	7/28	埼玉	県立桶川高等学校	全校生徒	940	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部	三柴 啓一
26	7/29	三重	県立宇治山田商業高等学校	全校生徒	600	◇自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・三重支部	萱野 雄彦
27	7/29	北海道	千歳北陽高等学校	全校生徒	500	◇自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部	内藤 裕孝
28	8/5	広島	県立上下高等学校	原付通学生 3年生	2	◇二輪車（バイク）の交通安全 高校生のためのSafety Riding	日本二輪車普及安全協会・中国支部	田村 敏夫
29	8/6	東京	都立神津高等学校	全校生徒	55	◇ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・東京支部	谷 宗一郎
30	8/24	北海道	旭川東高等学校定時制	全校生徒・職員	50	◇夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・秋田支部	後藤 博行
31	9/1	群馬	県立伊勢崎商業高等学校	全校生徒	750	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部	三柴 啓一
32	9/2	茨城	県立鬼怒商業高等学校	通学許可生徒（2年・3年生）	16	◇二輪車（バイク）の交通安全 高校生のためのSafety Riding	日本二輪車普及安全協会・大阪事務所	安保 秀人
33	9/2	和歌山	県立紀伊コスモス支援学校	全校生徒	50	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部	角田 清
34	9/2	福島	県立郡山北工業高等学校	1年生	280	◇ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福島支部	渡辺 周二
35	9/2	大阪	府立茨木工科高等学校	2年生	204	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部	上村 俊一
36	9/2	東京	大森学園高等学校	1年生	250	◇自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・東京支部	谷 宗一郎
37	9/4	福島	県立安達東高等学校	①1年生・3年生 ②2年生	165	◇自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	渡辺 周二
38	9/8	神奈川	県立瀬谷西高等学校	1年生	310	◇自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・神奈川支部	奥田 恭司
39	9/10	京都	府立工業高等学校	2年生	40	★地球温暖化防止と自動車技術（次世代自動車とインフラ）	次世代自動車振興センター	荻野 法一
40	9/14	埼玉	県立吹上秋桜高等学校	1・2・3・4年生	400	◇自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部	小林 宗博
41	9/15	茨城	県立波崎柳川高等学校	全校生徒・職員	373	◇自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・茨城支部	高橋 啓剛
42	9/15	秋田	県立西目高等学校	1年生	122	◇ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡 彰
43	9/16	茨城	県立日立商業高等学校	全校生徒	600	◇ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・茨城支部	高橋 啓剛
44	9/16	大阪	東大阪大学柏原高等学校	2年生	250	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部	前田 利生
45	9/16	大阪	関西大学北陽高等学校・中学校	高校1年・中学1年	500	◇ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全 ★交通技術と社会のあり方（自動運転技術の現状と方向性）	日本自動車連盟・大阪支部	大野 芳久
46	9/17	岡山	県立高松農業高等学校	2年生	40	◇ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	NAC	西村 直人
47	9/17	大阪	府立藤井寺高等学校	1年生	240	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部	石井 義久
48	9/18	宮城	松山高等学校	全校生徒	175	◇夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・宮城支部	富澤 亮人
49	9/23	福島	県立白河第二高等学校	全校生徒	63	◇自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・東北支部	石川 静男
50	9/28	愛知	県立安城高等学校	高校1～4年生	90	◇夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・愛知支部	寺本 浩
51	9/28	熊本	県立菊池高等学校	全校生徒	400	◇ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・熊本支部	緒方 将
52	9/30	奈良	県立大淀高等学校	全校生徒	400	◇自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・奈良支部	竹ノ内 英介
53	9/30	秋田	県立能代高等学校	1・2年生	450	◇ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡 彰
受講者 合計（名）					15,143	◇:交通安全 50件、受講者計14,989名 ★:環境技術・交通技術 2件、受講者計80名 ◆:自動車技術 1件、受講者計74名		